



未来に繋がる自分へ繋げる

主な内容

- | | | | |
|-------------------------|-----|-----------------|---|
| ●卒業生に贈る言葉 総長・学長 | 2 | ●平成24年度学長賞表彰 | 6 |
| ●卒業生に贈る言葉 ～各会長からのメッセージ～ | 3 | ●学長賞受賞者・団体のコメント | 7 |
| ●学園を去るにあたって | 4・5 | ●卒業生の皆さんへお知らせ | 8 |

卒業生に贈る言葉



努力と感謝の心で

総長 田中 良昭

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。16年間にわたる学校教育の仕上げともいべき大学教育の4年間を本学で学び、それぞれの専門分野の研鑽を積んで社会に巣立とうとされているみなさんの前途を、心から祝福したいと思います。

しかしながら今日の社会状況は、かなり厳しさを増しています。それも程度問題であって、いついかなる時代でも、結局は自分の人生は自分で切り開いていかなければならないのです。そんな時、先人の遺された「智慧の言葉」に耳を傾ける必要があります。

本学は、仏教とりわけ禅の教えを建学の理念としています。仏教の開祖釈尊は、「この世のすべてのものは、独立しては存在せず、他との関わり合いで成り立っている」という事実に目覚め、それを「縁起えんぎ」という言葉で示されました。この教えは、その後、様々な言葉で説明されましたが、私は、中国の華嚴宗けこんしゅうの大成者である法蔵ほうざうの、「一人即一切人、一切人即一人」(『華嚴経問答』)という言葉がその真意をよく表わしていると思います。

それを今日の言葉でいえば、「わたしが努力を重ねることでみんなが幸福になれるし、みんなの努力のおかげでわたしも幸福になることができる」となるでしょう。すなわち前半では、自分のことよりも社会のために尽くす人間になるための「努力」が問われているのであり、後半では、自分が社会の中でいかに多くの人々の力や物の恩恵によって生かされているのか、そのことへの「感謝」の心が求められているのです。この努力と感謝の心を大切に、社会に羽ばたいていただきたいと思います。



この歩みこそが成果である

学長 石井 清純

ご卒業おめでとうございます。

今日、この日をもって皆さんは、一箇の人格として世界へと船出していきます。それは、これまでの学びとは違い、多様な社会情勢の中で、自らの在り方を見いだす作業となります。

時に、先行きの見えない社会にあって、漠然とした不安に身動きがとれなくなることがあるかもしれません。そのようなときに、ステイブ・ジョブズ氏の「Journey is the reward. (旅路そのものが報酬だ)」という言葉を想起してください。行為のあとに成果がもたらされるのではなく、旅路の一步一步、すなわち過程そのものが、そのつどの到達であるということでしょう。成果至上主義的な思考とは一線を画した考え方です。

ジョブズ氏は、本学の卒業生である乙川弘文師に師事して禅を学びました。氏が、一度は大きな挫折を味わいながらも、偉大な業績を残すことができたのは、禅の教えに導かれ、自分の仕事を成果のための手段としてとらえず、それそのものに価値を置いて取り組んでいたためであるように思えてなりません。

じつに、この考え方は、まさしく道元禅師の「現成公案」の教えに一致します。「いま」の一瞬一瞬の実践を、過去と将来を含めたすべての可能性の表現とする考え方です。

道元禅師は、これによって自らの行動原理を「只管打坐(ただ坐禅すること)」に見いだしました。皆さんも、生地のままの自分として、いかに行動すべきかを常に意識し、自らの一步一步に達成感を抱きながら歩み続けていただきたいと思います。

皆さんの着実な「いま」の連続が、輝かしく成果となることをお祈りしております。

一松語

書斎の窓からガラス越しに、野鳥が一羽、じつと電線にとまっているのが見える。頭が黒、背から尾にかけて青灰色。オナガだと思う。私との距離はほんの10mほど。ガラスを隔てているせいか、こちらの気配をまったく感じていない様子で、そこを動こうとしない。でも、ときおり小首をかしげ、まるでもの思いに耽っているかのようだ◆ふだん窓から見える野鳥たちは、エサ探しに余念がなく、たとえ木の枝や電線にとまって

いても、たえず周囲をキョロキョロと見まわしている。野鳥である以上、都会に住んでいても、苛烈な生存競争の真只中にいることに変わりはない。いま私が立ち会っているのは、ほんの束の間、戦士が休息するときなのだろう◆しかし私の目を惹きつけたのは、鳥のくつろぎの姿ではなく、思索を思わせるその仕草である。一瞬であれ鳥の仕草には、精神活動を想定させる一種の風格が煌めき、ふと私の中には「あそこで鳥は何を考えているのだろう」という問がたしかに浮かんだ◆こちらの精神が刺

激され思索が起動するには、相手の精神活動が言葉を通じて実際に顕現する必要はない。たとえば風格のある仕草を通じて、その活動が想定されるだけでいい。このように精神は、おそらく相手の精神との実際の出会いを切望して待ちきれず、相手の仕草の中にさへ食欲に精神のカケラを見つけ出し、それを心の支えにして、自分一人で自由に飛立つものである◆教師が学生に与えなければならないのも、この精神のカケラではないか。風格は無理でも、言葉を紡ぎ続けることによって。

卒業生に贈る言葉

～教育後援会会長・駒澤会会長・同窓会会長からのメッセージ～



教育後援会会長
佐藤 隆彦

「色々な幸福」^{しあわせ} 教育後援会 —在学学生父母の会—

ご卒業おめでとうございます。新入生のとき、大きな期待と不安を抱えながら入学された皆さんが、立派に卒業を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。駒澤大学卒業生として胸を張り、堂々とそれぞれの道を歩いてください。皆さんが大学で培った経験は、必ず実社会で役立ちます。夢・希望・目標を常に持ち、かけがえのない人生を一步一步進んでください。

人には色々な幸福^{しあわせ}があります。有名にならなくても、大企業で働かなくても、大金持ちにならなくても、幸福^{しあわせ}の扉は数限りなくあります。それを開けるのは皆さん自身です。人と比べるのではなく、自分自身の幸福^{しあわせ}を見つけてください。そして常に社会から求められる人材として活躍してください。



駒澤会会長
森屋 正治

「志を持てば願いは成就」^{しあわせ} 駒澤会 —卒業生父母の会—

昨年は駒澤大学開校130周年を迎え、そして本年は駒沢へ移転して100年目を迎える良き年にご卒業、誠におめでとうございます。

駒澤大学駒澤会は卒業生の父母の会として、長きにわたり一人でも多くの学生に奨学金を授与することを第一の目的として活動している組織でございます。

皆さまは、長年の教育を終え、いよいよ研鑽さ

れた学力、そして知識・経験を持って実社会に羽ばたくわけです。今まで自分なりに方向性を見つめて勉学に励まれ、いよいよその真価・実力を発揮できる時が参りました。何事にも自分なりの希望を掲げ、今現在を大事にし（而今）、一步一步歩を進めれば必ず成就することと思います。

皆さまの未来に栄光あれと願いお祝いの言葉といたします。



同窓会会長
越後 宏允

同窓生として母校にエールを 同窓会 —駒澤大学・駒澤短期大学卒業生の会—

駒澤大学同窓会会員21万5千人を代表いたしまして、お祝いのご挨拶をさせていただきます。

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆さまにおかれましては、この良き日を楽しみに支えてこられたことと思います。誠におめでとうございます。駒沢の地で学び、スポーツや文化活動に励み、多くの友人に囲まれた生活から、社会の荒波へ一歩を踏

み出すこととなります。駒澤大学同窓会会員としてのスタートでもあります。様々な職業・環境で働く同窓生は全国から駒澤大学にエールを送っています。在学生の活躍を見聞きし、校歌を耳にすることは懐かしさと感動を覚えます。皆さんもこの感動を全国あるいは世界のどの地でも味わい、母校を大事にする一人としてともに活動されることを願っています。

卒業される皆さんへ

学部長からのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。それぞれに学んだ学部・学科は違っても、また情熱的に取り組んだサークル活動は異なっても、駒澤大学の学生として充実した学生生活を送り、厳しい就職戦線を突破し、卒業を迎えられて感無量のことでしょう。

大学生として東日本大震災も経験し、ボランティアに従事し、社会について、人々の繋がりについて、多くを学んだ学生も多いことでしょう。その意味でもきっと忘れられない大学時代となることでしょう。

駒澤大学の学生としてこの4年間に学んだ多くの知識と貴重な経験を生かして、社会人として大きく羽ばたき成

長されることを期待しています。これから社会人として歩む道は、決して平坦でも平安なものでもないでしょう。しかし、その歩みに労苦を厭わず、それぞれの夢の実現に向けて邁進してください。

人生に努力は欠かせません。今後は、社会人として、どのような職業にあっても、環境に適應できる柔軟性や大局的な判断力が求められます。文化的な、また社会的な素養を身に付け人間らしい豊かさを実感できる生活にも知識の絶えざる習得が必要です。卒業後も学びの姿勢を継続し、知的営為を怠らず、貪欲に知識を吸収することが大切です。そして、その知識を社会の発展に

も活用し行動できる人間として、さらに大きく成長されることを祈念しています。大きく成長した駒澤大学同窓生として大学キャンパスで、また活躍の場でお会いできることを楽しみにしています。（経済学部長 百田 義治）

仏教学部	永井 政之
文学部	久保田昌希
経済学部	百田 義治
法学部	松村 格
経営学部	高井 徹雄
医療健康科学部	山本 裕右
GMS学部	川崎 賢一
総合教育研究部	遠山 博雄
法科大学院	日笠 完治



松田先生の研究室にて卒論指導

たくさんの書物に触れた4年間

私の大学生活の中で、図書館で過ごした時間はとても有意義なものとなりました。私は授業で理解できなかったところを調べるために、図書館にしばしば通いました。たくさんの書物に触れ、読み比べたり、分厚い辞書でわからない語句を引いていると、時間はあっという間に過ぎていきました。図書館を利用することを通じて、授業の内容でよく理解できなかったところが、少しずつ理解できるようになると、授業の内容に対する興味や好奇心が増しました。また、入学前は知ることのなかった仏教や禅の奥深さを知るきっかけともなりました。

卒業後も、自らの学びをさらに発展させ、より深めていきたいと思っています。仏教学部の諸先生方、一緒に学んだ友人、サークルの仲間、駒澤大学で出会えたみなさん、本当にありがとうございました。

仏教学部仏教学科4年 植草佳奈子

4年間で得たもの

この原稿依頼とともに依頼された4年間の写真を探していた時、私が一人で写っている写真はほとんどなく、常に友人に囲まれた日々を送っていたのだと改めて実感しました。もちろん入学当初は不安だらけでしたが、学科内の友人とは切磋琢磨しながら4年間を過ごすことができました。また、所属していた手話サークルでは信頼できる仲間に出会っただけでなく、手話という新たな言語を手に入れたことで自ら世界を広げていくことに喜びを感じ、ボランティア活動や様々なアルバイトも積極的に経験しました。

それぞれの場所で出会った人とは、楽しい思い出も同じ時間を過ごした絆もあります。そして、考え方や、人との接し方など学ぶべき点もたくさんあります。学業だけではない大きな学びを与えてくださった皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

文学部国文学科4年 小野裕子



学園を去るにあたって～卒業生から



出会いと成長の4年間

駒澤大学に入ってから4年間は思い返してみれば自分の人生に欠かせない出会いや経験の連続でした。部活はもちろん、ゼミやアルバイトでも多くの出会いがありました。居合道部では様々な立場の人たちと同じ組織の中で協力し合うことを学び、ゼミでは自分の意志で選んだ一つの課題に取り組む続けるための根気を養いました。この4年間で強く感じたことは物事を途中で投げ出さない継続力の大切さと、人との出会いに無駄な出会いはないということです。様々な場所で出会う価値観の合う人・合わない人、そうした人と意見を交わしあうことで、今まで気づけなかったことが分かるようになっていくのが、だんだんと実感できるようになっていきました。それは、自分にも他人にも真正面から向き合うことができたからこそであると思います。

経済学部経済学科4年 稗田悠太

誰にでもできることがある

この4年間で私の“国際貢献に対する考え方”を大きく変えました。特に、大学3年の夏に始めた“TABLE FOR TWO”の活動がそのきっかけになりました。入学当初、私は社会に対してできることなんてないと思っていました。しかし、食べるだけで国際貢献できるような仕組みが実際の社会にはあるということに TABLE FOR TWO を通じて気づきました。そんな活動が駒澤大学にあったら絶対面白い。そう思って大学で活動した結果、昨年だけで1800食分の給食支援をアフリカの子供たちにできたのは、自分にとって貴重な経験になりました。大学を卒業しても、自分にできる社会貢献活動を継続していきたいと思っています。

最後に、この4年間で出会えた友だち、大学で大変お世話になった三竹先生、本当にありがとうございました。

★ TABLE FOR TWO とは

開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に取り組む日本発のNPOです。対象商品となる定食や食品を購入すると、1食につき20円の寄付金がTFTを通じて開発途上国の学校給食に役立てられます。

法学部政治学科4年 鳥山貴生



▽ 経験が与えてくれた 勇気・自立心

経営学部経営学科4年 倉橋 望



大学4年間は、アルバイトや留学、就職活動などを通し、たくさんの土地へ足を運び、多くの人と出会いました。すべてが貴重な体験になりました。中でも大きな経験となったのは、1ヶ月間口サンゼルスへ留学したことです。一人でもまったく知らない土地に出かけるというのは、私にとってとても勇気があることでした。知らない人に囲まれ、普段とは違う言葉を使って生活することは簡単なことではありませんでしたが、この経験が私に大きな勇気を与えてくれたと同時に、自立心を与えてくれました。

地方から出てきた私にはとにかく未知なことが多かった東京、そして海外。幅広い視点で様々なことを経験し、考え、行動することができ、とても幸せで貴重な4年間でした。駒澤大学で過ごせてよかったと感じています。お世話になった皆さん、本当にありがとうございました！

▽ 充実の4年間

医療健康科学部

診療放射線技術科学科4年 井上皓平

私は子どものころから医療に携わる仕事に就きたいと思っており、診療放射線技師の養成校であるこの駒澤大学に入学しました。

大学生活は、レポート提出や日々の勉強に追われ、あっという間に過ぎてしまったような気がします。しかし、授業や実験で学ぶ内容はどれも興味深く、また自分の夢に一歩ずつ近づいているのだという実感が更なる意欲へとつながり、毎日を充実したものとすることができました。

このような大学生活を送ることができたのは、熱心に指導してくださった先生方、同じ目標を持ちともに頑張ってきた同学部の友人たち、そして4年間大学に通わせてくれた両親のおかげです。本当にありがとうございました。

4月からは診療放射線技師として医療の現場に携わることとなりますが、この駒澤大学で学んだことを最大限に生かして頑張っていきたいと思います。



のメッセージ～



司法試験合格体験記

平成23年3月 法科大学院修了
鈴木基樹



私は、本学の経営学部を卒業し、その後、本学の法科大学院に進学し、平成24年度の新司法試験に合格して、現在は東京地裁立川支部において司法修習中です。

大学在学中は、将来的には何か資格を取得して、それを生かした仕事をしたいと考えていましたが、法曹になるという目標は現実的ではなく、他学部履修で民法の講義を受講した程度でした。卒業後の進路を考えなければならぬ時期になり、職域の広さ、仕事のやりがい等を考え、弁護士を目指すことにしました。

卒業後、勉強を始めたものの、大学在学中にはほぼ法律の勉強をしたことがなく、まわりに司法試験の勉強をしている人もいない状況で、初めての受験の成績は惨憺たるものでした。その後、迷走しつつも勉強をすすめる中で、法科大学院に進学することができ、先生方の熱心なご指導もあり、司法試験に合格することができました。

大学在学中、将来何をやるべきかわからない、やりたいことはあるけど一歩踏み出せない、そんなことを思う人もいるかもしれませんが、しかし、いろいろな人と出会ったり、いろいろな世界に触れてみることで、きっとやりたいことが見つかるはずです。何かやりたいことが見つかったら、自分で勝手に足枷を作ったりせず、ともかく始めてみてください。大学時代はそんな試行錯誤が許される時期だと思います。限りある大学生活、様々な分野にチャレンジして、自分のすすむべき道が見つかることを祈っております。



▽ 大学生活を糧に

私の人生で大学生活4年間ほど成長した時期はなかったと断言できます。大学を超えて数えきれない方々と出会い、全てが自分の糧となりました。授業、ゼミ、アルバイト、海外旅行、インターンシップ。出逢った人の数だけ成長しました。

特筆すべき思い出は、大学2年生から始まったグローバル経営論のゼミです。各務教授の下、個性豊かなゼミ生たちと毎週徹夜で準備を続けた企業研究。ゼミ合宿や企業訪問など、全ての活動が先輩後輩の垣根を超えていました。辛辣な指摘で傷付け合うこともありました。しかし、常に全員で切磋琢磨したゼミの学びは、最大の財産です。

私は4月から大手部品メーカーで働きます。駒澤大学GMS学部で得た経験を糧に国際舞台上で活躍したいと思います。最後に、両親、先生、友人、出逢った全ての皆さま、本当にありがとうございました。

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科4年 南 巖彦

平成24年度 学長賞表彰

学長賞 2団体と20人 学長奨励賞 5団体と25人 (ペア受賞含む)

学長賞および学長奨励賞は、学業・善行・研究・文化・体育などの分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に多大なる貢献をした者、または学生団体をたたえる賞です。

学長賞を受賞した在学生・学長奨励賞受賞団体・個人へは、3月21日に表彰式が執り行われました。

学長賞受賞団体と学長賞を受賞した卒業年次生は、3月25日の卒業式において表彰されます。

学長賞

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶取得科目平均点が100点満点中90点以上でかつ全ての評価がA以上の者

- 鈴木 真弓 (国文4)
- 石川 美風香 (地理4)

▶博士後期課程(最短期間の課程により学位を取得し研究業績が著しく優れ、研究科委員会の推薦がある者。但し満期退学者が学位論文を申請するため、再入学した者は除く)

- 伊藤 今日一 (診療放射線学専攻3)
- 秋葉 憲彦 (診療放射線学専攻3)

▶専門学位課程(総合GPAが3.0以上でC評価及びF評価がない修了見込者で、研究科教授会の推薦がある者。但し原則として最短修了年限で修了見込みの者に限る)

- 熊谷 典子 (法曹養成専攻3)

▶対内外的において、著しい業績をあげた者又は学生団体(専門的研究を修めた者で教授会の推薦がある者)

- 内藤 剛大 (商4)
- 佐々木 亮 (現代応用経済4)

▶研究論文、ゼミ等で著しい研究成果があり、教授会の推薦のある者

- 信田 祐介 (商4)
- 公認会計士試験合格

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

■ 個人の部

▶対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

- 濱崎 良太 (禅4)
第67回国民体育大会ぎふ清流国体 ボクシング成年男子ミドル級優勝
第82回アマチュアボクシング選手権大会 ミドル級優勝
- 志渡澤 和広 (仏教3)
第67回国民体育大会ぎふ清流国体 ボクシング成年男子フライ級3位
第82回アマチュアボクシング選手権大会 バンタム級3位
- 田中 亮明 (商1)
第67回国民体育大会ぎふ清流国体 ボクシング成年男子ライトフライ級優勝
第82回アマチュアボクシング選手権大会 ライトフライ級準優勝
- 林田 翔太 (商2)
第67回国民体育大会ぎふ清流国体 ボクシング成年男子フライ級3位
第82回アマチュアボクシング選手権大会 フライ級優勝
- 久我 和弥 (社会4)
第18回世界大学クロスカントリー選手権大会 日本代表 男子7位
- 村山 謙太 (経済2)
第14回世界ジュニア陸上競技選手権大会 日本代表 男子10000m 6位
- 伊東 佑季 (商2)
FISU第8回世界大学空手道選手権大会 日本代表 女子組手-50kg 2回戦進出
- 油布 郁人 (経営3)
秩父宮賜杯第44回全日本大学駅伝対校選手権 第5区区間賞(区間新)

■ 団体の部

- <空手道部>
内閣総理大臣杯第55回全国空手道選手権大会 大学の部 総合優勝
- <陸上競技部>
秩父宮賜杯第44回全日本大学駅伝対校選手権 優勝(大会新)

学長奨励賞

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶研究論文、ゼミ等で優秀、又はユニークな研究業績を挙げた者で、複数の教員の推薦がある者

- 堀江 雅宏 (商3)
- 税理士試験2科目同時合格

- 小田原 唯 (経営3)
- 税理士試験2科目同時合格

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

■ 個人の部

▶対内外的において、著しい業績をあげた者又は学生団体

- <空手道部>
- 三村 桃子 (歴史4)
第48回東日本大学空手道選手権大会 女子の部 準優勝
- 鳴島 由貴 (経済1)
平成24年度秋季関東学生定期リーグ戦 男子組手の部優勝
第23回関東学生空手道体重別選手権大会 男子組手の部67kg級優勝
- 山田 裕士 (経済1)
第23回関東学生空手道体重別選手権大会 男子組手の部84kg級優勝
- 竹井 美都樹 (経済2)
平成24年度秋季関東学生定期リーグ戦 女子組手の部優勝
- 村田 匠 (経済3)
第23回関東学生空手道体重別選手権大会 男子組手の部84kg超級優勝
- 山縣 弘朋 (法律A1)
平成24年度春季関東学生会定期リーグ戦 男子組手の部優勝
- 原田 龍 (経営3)
第23回関東学生空手道体重別選手権大会 男子組手の部75kg級優勝
- <体操競技部>
- 池田 正美 (現代応用経済4)
第66回全日本体操競技団体・種目別選手権大会 女子跳馬決勝4位
- <卓球部>
- 佐々木 雄野 (経営1)
2013サフィール国際オープン(スウェーデン・オレボロ)国際大会 連盟代表
- 加藤 悠二 (商3)
平成24年度春季関東学生卓球リーグ戦 優秀選手賞
- <硬式野球部>
- 福山 亮 (経済2)
平成24年度東都大学野球秋季リーグ戦 ベストナイン一塁手
- 小林 勇登 (経済4)
平成24年度東都大学野球秋季リーグ戦 首位打者・ベストナイン外野手
- 江越 大賀 (法律B2)
平成24年度東都大学野球春季リーグ戦 ベストナイン外野手
- 下川 知弥 (市場戦略2)
平成24年度東都大学野球秋季リーグ戦 ベストナイン3塁手
- 中谷 泰周 (市場戦略4)
平成24年度東都大学野球春季リーグ戦 ベストナイン外野手
- <ボクシング部>
- 渡部 哲也 (商3)
第65回関東大学ボクシングリーグ戦 1部リーグバンタム級階級賞
- <陸上競技部>
- 千葉 健太 (経済4)
第89回東京箱根間往復大学駅伝競走 第6区区間賞
- 後藤田 健介 (法律A4)
第89回東京箱根間往復大学駅伝競走 第10区区間賞
- 上野 渉 (政治4)
第96回日本陸上競技選手権大会兼第30回オリンピック競技会(2012/ロンドン) 代表選手選考競技会5000m第7位
第89回東京箱根間往復大学駅伝競走 第9区区間賞
- 窪田 忍 (経済3)
青木半治杯・2012国際千葉駅伝 日本代表 準優勝
第96回日本陸上競技選手権大会兼第30回オリンピック競技会(2012/ロンドン) 代表選手選考競技会 10000m第5位
- <競技ダンスクラブ>
- 齋田 彩佳 (心理4)・大塚 悠生 (法律A4) (ペア)
第91回東都日本学生競技ダンス選手権大会 1部戦個人サンバ第1位
- <所属なし>
- 清水 皇輔 (政治4)
2012EURO硬式空手道Friend ship選手権大会 一般男子形優勝・一般男子組手優勝
- 竹内 純 (診療放射線技術科4)
第6回アジアテコンドー選手大会 国際大会日本代表
- 団体の部
- <サッカー部>
2012年第36回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント3位
- <体操競技部>
第66回全日本学生体操競技選手権大会 女子2部リーグ優勝 1部リーグ昇格
- <準硬式野球部>
東都大学準硬式野球秋季リーグ戦 2部リーグ優勝 1部リーグ昇格
- <洋弓部>
2012年度関東学生アーチェリー女子リーグ戦3部Aブロック戦 3部Aブロック優勝 2部リーグ昇格
- <ボウリング部>
第50回関東学生選手権大会 5人チーム戦 優勝

学長賞受賞者のコメント

「出会い」



医療健康科学研究科
診療放射線学専攻
博士後期課程3年

秋葉 憲彦

この度は、学長賞という名誉ある賞をいただき光栄に思います。これもひとえに未熟な私を見捨てず、常に希望を与えてくださった医療健康科学研究科教授、吉川宏起先生のおかげであると感じております。博士後期課程の研究は決して楽なものではありませんでしたが、最短年度で修了できることを幸せに思っています。

私は、仕事を続けながら、夜に研究をするという生活を5年間続けてきました。その中で多くの方々に出会い助けられ、今の自分があるのだと思います。現在の医療は日々進歩を遂げ、医療の質は格段に上がっています。私も駒澤大学大学院修了生として恥じぬよう、今の医療をしっかりと見極め、できる限り多くの視点で患者さんと向き合っていければと考えております。

私事ではありますが、息子がもうすぐ1歳になります。研究中はなかなか時間が取れず、寂しい思いをさせてしまいました。今後は家族ともに成長していければと思います。ありがとうございました。

「有終の美」



仏教学部
禅学科4年
ボクシング部

濱崎 良太

この度、学長賞という名誉ある賞をいただき光栄に思います。私はボクシング部に所属しています。学長賞をいただくのは今回で4回目ですが、1, 2, 3年次通して今までで一番嬉しく思います。なぜなら、1, 2年次は優勝なし、3年次は国民体育大会で優勝したものの、他の大会では2敗しました。しかし、今年度は関東リーグ戦全勝階級賞、国民体育大会優勝、全日本選手権優勝と無敗で終えることができたからです。チームとしてはリーグ戦で3位Aクラス入りし、4年生として学生生活最後に、有終の美を飾ることができました。これも、これまで関わってきた全ての方々のおかげだと思っています。本当に感謝しています。みんなの学長賞です。

そして4月からは社会人として新たにスタートします。ボクシングはもちろん、人として日々精進し成長していきたいと思っています。4年間お世話になりました。

「最高の仲間たち」



経営学部
経営学科3年
陸上競技部

油布 郁人

この度は、学長賞という大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。この賞を受賞することができたのも、応援と支援をしてくださる皆さまの支えがあったからだと感じております。

私は陸上競技部に所属しており、出雲、全日本、箱根の大学三大駅伝の優勝を目指し、日々練習に励んできました。辛いことも多々ありますが、ともに戦っていく仲間がいるからこそこのような賞がいただけるのだと、仲間には本当に感謝しています。駅伝は走るときは一人きりですが、辛くきつい時とともに練習してきた仲間を思い出すと、もうひと踏ん張りの力が湧いてきます。また、駒澤大学陸上競技部で陸上を続けてきて、期待、応援をしてくださる方々が本当に大勢いるのだと感じました。しかし、今年度の三大駅伝でそれに応えることができたのは全日本大学駅伝の優勝ただひとつでした。来年度は、多くの方々の期待に応えられるよう、最高の仲間たちと最高の笑顔で喜び合えるよう、一日一日を大切に精進していきます。

学長賞受賞団体のコメント

「自分の心を支配するために」

空手道部

この度、学長賞という栄誉ある賞を受賞することができ、大変光栄です。

この賞を受賞できたのも、ご支援をいただいた皆さまのお蔭であると心より感謝申し上げます。

今年度、私たちは第55回全国空手道選手権大会で4冠（男女型・組手）を達成し、文部科学大臣杯を受賞しました。日々の稽古と授業への出席を基本とし、部員同士がライバル心を持って厳しい稽古を積み重ねた結果だと思っています。

武道には「四戒」という言葉がありますが、空手の勝負は、技だけではなく心の動きに支配されることが多くあります。己が築き上げた技を、相手と対峙した時、恐れず、迷わず

極めることこそが私たちの課題であり、その精神力を養うことができた時、自然と結果がついてくると信じています。

後輩たちには、毎日の稽古と日常生活でその精神を養い、今まで以上の戦績を残すことで大学に『恩返し』をして欲しいと思います。

今後も空手道部へのご支援よろしくお願ひします。押忍
(前主将 経済学科4年 上田 宰佑)



駒澤大学同窓会からのお知らせ

同窓生総数215,000人！
皆さまの積極的な参加協力をお待ちしています！



- 全国に55支部を擁し、各支部では、総会・親睦会・支部ごとの交流会を行い、結束を強め、母校を応援しています。
- 卒業時の住所により、各都道府県支部に登録されます。卒業後に住所変更等をされましたら、事務局までお知らせください。
- 卒業後は、年1回「同窓会だより」をお送りします（毎年9月発行）。各支部の活動や大学の近況がわかります。未着の場合は、住所不明者扱いになっておりますので、必ずご連絡ください。
- 同窓会ホームページをご覧ください。
大学HP ⇒ 同窓生の方 ⇒ 同窓会

事務局連絡先 TEL: 03-3418-9189 FAX: 03-3418-9190

ホームカミングデー

卒業後も大学へ！

毎年11月上旬に「ホームカミングデー」を開催しています。卒業後、母校へお集まりいただき、旧交を深める会として今年で10回を迎えます。

開催日程が決定次第、ホームページ、同窓会だより等でお知らせいたします。多くの卒業生の皆さまのご参加をお待ちしています。



卒業生の皆さんへお知らせ

卒業証明書、成績証明書等の申し込み

窓口申し込み、郵送申し込みの2つの方法があります（電話・FAX・Eメール等による申し込みは受け付けません）。

【窓口申し込み】

公的機関発行の身分を証明するもの（運転免許証・パスポート・健康保険証・住民票等）を持参のうえ、直接来校してください。

【郵送申し込み】

以下の4点を封書で郵送してください。

- ★公的機関発行の身分証明書の写し
- ★必要事項記載用紙
 - ①氏名（卒業時氏名・フリガナ併記。英文証明書希望者は欧文氏名も併記してください）
 - ②生年月日
 - ③入学年月・卒業年月
 - ④学部・学科
 - ⑤学生番号
 - ⑥フレックスA・Bの別
 - ⑦卒業時の本籍都道府県名
 - ⑧証明書種類・必要部数（厳封の要・不要を記入してください）
 - ⑨使用目的・提出先
 - ⑩連絡先（住所・電話番号・日中連絡のつく電話番号も併記）
※任意の書式可。また本学ホーム

ページより専用フォームのダウンロードも可能です。

駒澤大学ホームページ

<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

★証明書発行手数料（切手）

1通300円
（英文による証明書は1通600円）

★返信用封筒

長形3号封筒 23.5×12cm
宛先明記・送料分の切手貼付

【申し込み先】

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学教務部 証明書係

☎03-3418-9121

なお、夏季・冬季休業中、及び学校行事等で事務取り扱い日・時間の変更になることもあります。お問い合わせください。

卒業アルバムの発送について

卒業アルバム購入申し込みをされた方へ

卒業アルバムは、5月中の発送を予定しています。

予定を大幅に過ぎて届かない場合は、下記までご連絡ください。

★卒業アルバム問い合わせ先

学生部学生係
（学生部①番窓口）
☎03-3418-9064

卒業後の図書館利用について

卒業後も図書館を利用できます。来館の際は、1階カウンターで、身分を証明するもの（運転免許証、卒業証明書等）を提示し、所定の「図書館利用願」に記入し、館内利用の手続きを行ってください。

貸出が受けられる貸出登録手続き等詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

★問い合わせ先

図書館情報サービス係

☎03-3418-9165

http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/library_guide/sotsugyousei/

総合情報センターから 卒業生および修了生の方へのお知らせ

卒業生および修了生の方のユーザIDは、3月31日をもって削除されます。

これにともない、個人データはメールも含めてすべて削除されますので、ご注意ください。

大学からのお知らせは、駒澤大学ケータイサイトでも見られます。

